



高齢者が働くことに生きがいを感じ、地域社会に貢献する

VOL. 18

令和2年8月1日号

# 銀のたまご

NARITA



手作りマスクを製作する女性会員

新型コロナウイルス感染拡大の影響

# 就業機会が大幅に減少

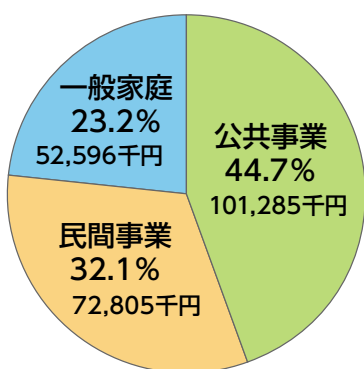
世界中が新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な危機に直面し、経済にも大きな影響が出ています。今回はシルバー事業への影響や今後の方針などについてお知らせします。

## 就業先が相次ぎ休業

シルバー事業では、公共や民間企業、一般家庭から多くの仕事を受注していますが、新型コロナウイルス拡散防止に伴う公共施設や民間企業の休業や利用制限等により、会員の就業機会が大幅に減少するなど大きな影響が出ました。

特に多くの会員が就業している公共事業部門(市役所関係の仕事)では、公民館やスポーツ施設等で利用制限が行われたほか、赤坂ふれあいセンターや成田市保健福祉館などの公共施設でも休館や開設時間短縮が相次ぎました。このためこれらの公共施設に就業している68人の会員が休業を余儀なくされました。また、会員の感染リスクを抑えるため、毎日作業していた駅前の道路清掃を1日おきに作業するなどの対策を講じたため、就業時間の減少に繋がりました。

契約金額構成比別 令和元年度事業実績



公共事業部門に続き事業比率の高い民間事業部門でも同様の状況で、多くの会員に影響が出ました。特に航空業界では、世界各国で入国制限措置が取られたことで成田国際空港の旅客数も激減し、4月以降は関連した企業も営業休止となったため、会員の就業機会が奪われました。ちなみにゴールデンウィークの成田空港の出入国者数は、前年比99%減となり、駐車場もターミナルビルの中も閑散とした状況が続きました。

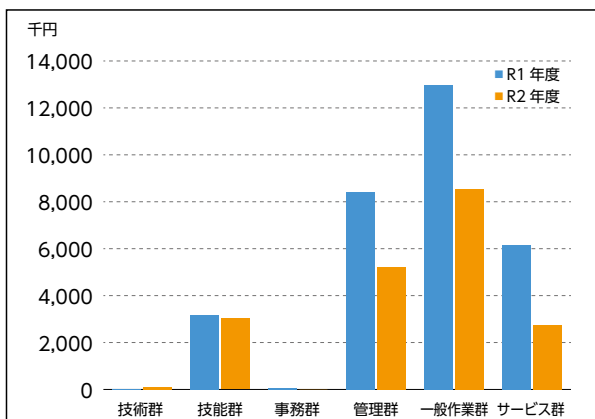
## 契約額が36パーセント減に

日本経済に大きな打撃を与えた新型コロナウイルス問題は、本センターの事業にも大きく響き、4、5月だけで延べ一千七九一人の会員の就業に影響を受け、契約金額では、前年同2カ月比で約一千二百万円の減、率にして36・2%の減少になりました。(下表参照)

職群別で同様と比較すると、一般作業群、管理群に続いてサービス群の契約金額が大きく下回りました。一般作業群には、除草作業や清掃なども含まれていますが、減少の要因としては、道路清掃の就業日数が減ったことや、一般家庭のお客様からの除草の注文が例年になく少なかったことが考えられます。管理群では、行政の各施設の利用が制限されたことでそこで就業している会員も就業休止となりました。サービス群では、通学路防犯パトロールが時間短縮されたほか、成田国際空港の国際線旅客数が激減したことで、語学力を生かす職場に就業をしている会員17人が4月初旬より休業となりました。

その他、植木剪定の注文も昨年より減少しましたが、これは緊急事態宣言が発令され、家庭にいる時間が

職群別契約金額(4月・5月)



発注者別事業実績(4月・5月)

区分	令和元年度		令和2年度		増減	
	就業延人員	契約金額	就業延人員	契約金額	就業延人員	契約金額
公共事業	3,716	14,721,936	2,954	10,306,091	△762	△4,415,845
民間事業	2,238	12,209,770	1,336	5,702,127	△902	△6,507,643
一般家庭	692	6,055,918	565	5,034,709	△127	△1,021,209
合計	6,646	32,987,624	4,855	21,042,927	△1,791	△11,944,697





センターの感染予防対策

多くなったことで、庭の手入れも自分で行ったためと思われる。

### センターでも予防対策

国内での感染者が増える中、4月7日に緊急事態宣言が発令されました。国民に対し、不要不急の外出は控えること、三つの密「密閉、密集、密接」を避けてマスクの着用および手指消毒による感染予防に努めることなどが要請されました。

この宣言を受け、事務局では、職員や会員から感染者は出さないという意識を持つとともに、あじさい通信を通じて会員に感染予防対策を呼び掛けました。

また、職員全員が濃厚接触者とな

り事務所を閉鎖することがないよう、職員の2交代制による在宅勤務を導入する一方、飛沫感染防止対策としてカウンターにビニールシートを設置するとともに手指の消毒液を置く措置を取りました。

### 就業回復を模索

緊急事態宣言が5月25日に解除された後、行政各機関での就業は通常に戻りつつありますが、航空業界や観光客を対象としたホテル、またそれに付随する多くの民間企業では、苦しい経営状況が続いています。一度止まってしまった人の流れは元に戻るのに相当の時間が掛かると予想されます。

このような中、6月5日、政府はコロナウイルス感染拡大による解雇・雇止めは見込みも含め累計二万五四〇人に上ったと発表しました。シルバー世代の仕事がどれだけ取り戻せるか、また現役世代の役に立てるかを模索していかなければいけません。

現在、センター関係者から一人も感染者を出すことなく事業運営を継続できているのが幸運かもしれませんが、長引くコロナ不況に今後センターとしてどのような対応をすれば良いのか課題は山積みです。

### 会議やイベントが中止に

3月初旬に予定していた、当センターの最大のイベント「シルバー祭り2020」のうち、パークゴルフ大会とボウリング大会は多くの人が集まることから感染リスクが高いと判断し、中止しました。また、3月から緊急事態宣言が解除されるまでの会議や入会説明会は出来る限り開催しないこととしました。これにより地域班主催のお花見を兼ねた親睦会も中止を余儀なくされました。

#### 会議等の状況

日付	内容	経過
3月28日	地域班C-1全体会議	中止
//	地域班B班総会	中止
4月4日	地域班(A班、B班)お花見	中止
4月10日	除草班総会	中止
4月21日	パトロール専門員巡回	中止
//	通パト実車講習会	延期
4月22日	入会希望者説明会	中止
4月27日	ハローワーク啓発活動	中止
4月30日	パトロール専門員巡回	中止
5月18日	安全・適正就業委員会	中止
5月21日	理事会	実施
5月22日	ハローワーク啓発活動	中止
5月27日	入会希望者説明会	中止

### 入会説明会を再開

緊急事態宣言が解除になったことで、入会説明会を6月から再開しました。今後の予定は次のとおりで、いずれも午前10時からセンターで開催します。

説明会に参加される方はマスクの着用と入口での手指消毒にご協力をお願いします。

#### 令和2年度入会説明会の予定

8月	26日(水)
9月	30日(水)
10月	28日(水)
11月	25日(水)
12月	23日(水)
1月	27日(水)
2月	24日(水)
3月	24日(水)

### コロナウイルスと共存

新型コロナウイルスの感染拡大によって、外出の自粛や日常生活への制約は、会員の健康にもさまざまな影響を与えており、気づかないうちにストレスを蓄積してしまうこともあります。このような中でも規則正しい生活をして、免疫力を上げるような適度な運動などを行い、健康習慣を大切にするのが会員に課せられた課題であり、今後の就業につながる第一歩と考えます。

センターでは、これからも続くコロナ対策として、

- ◆ 症状がなくてもマスクを着用する
- ◆ 手洗い、うがいの励行
- ◆ 3つの密をできるだけ避けるなどの対応をしています。

その仕事シルバーにおまかせください

# 家庭・事業所での「困った」を解決します



シルバー人材センターでは、会員の知識や経験を生かし、皆様からのさまざまな仕事の依頼にお応えしています。今回はセンターで対応できる仕事をご紹介します。



古くなった襖を張替えないと。



伸び放題の庭の草を何とかしないと〜!



事務所の清掃をお願いしたいな!

## さまざまな仕事に対応

シルバー事業は、高齢者が自主的に働くことを通じて地域社会の一員として、健康で生きがいのある生活を営むことを目的としています。そのため、比較的低料金で仕事をお受けしています。また、お引き受けした仕事は、センターが責任を持って完了させますので、安心してお任せいただけます。

### 家庭の仕事

#### 庭木の手入れ

庭木の剪定や生け垣の刈り込みなどを行います。シルバーを代表する



職種で、一般家庭や企業から多くの受注をいただいています。なお、幹の高さが4mを超える庭木の剪定は危険防止のためお断りしています。また、枝や葉の処分費は実費となります。

#### 除草

庭の草取りや機械を使った草刈りを行います。植木の手入れと同様に、こちらも一般家庭や企業から多くの受注をいただいています。一般家庭の庭、空き地や休耕農地、会社敷地に至るまで除草のことならお任せください。なお、急傾斜地や石の多い場所についてはお引き受けできません。刈った草の処分費は実費となります。



#### リビングサービス

網戸・襖・障子の張替えなどを専門的な技術を持った会員がお引き受けしています。また、電球の交換、



家具の移動といった軽微な仕事も受けします。このほか、お墓の清掃なども行っています。



### ● 簡単な大工仕事や塗装

床の張替え、波板の張替え、手すりの取付けなどの小規模修繕は、大工経験豊富な会員が民間の職人並みの仕上がり具合でお引き受けいたします。また、簡単な塗装もお引き受けします。なお、2階部分等の高所作業はお引き受けできません。



### ● 家事援助サービス

家庭内の掃除、食事の支度、洗濯

買い物などを行います。一人住まいの高齢者や仕事が忙しい方にご利用いただいています。



### ● 植木の水やりサービス

旅行や出張など長期で外出される間、お客さまに代わって鉢植や庭木の水やりを行います。



### ● 空家の見回り

空家を所有しているお客様に代わり、定期的に家の見回りを行い状況を報告します。

## 事業所の仕事

### ● 施設管理

建物内外の見回り(開錠・施錠など)、駐車場・駐輪場管理、お客様への対応などを行います。民間企業等で培われた会員の豊富な知識と経験を、施設等の受付業務などに生かしています。なお、施設管理業務については、資格などの必要がない簡単な業務に限りお引き受けしています。

### ● 清掃

ビル・マンション等の共用部分や、緑地帯・駐車場・公園など屋内外での日常的な清掃を行います。狭い場所の短時間の仕事もお引き受けしますのでご相談ください。

### ● 商品管理

商品の入出荷、品出し、検品、陳列、保管などを行います。

### ● 事務処理

一般・経理事務、データ入力・文書・伝票作成、名簿・書類作成などを行います。会員の事務経験を生かした商品の伝票管理業務などのほか、

賞状書きや宛名書き、証明写真撮影といった会員の技能を生かした仕事も行っています。

### ● 配布、配達

パンフレットやチラシの配布、イベント補助などを行います。

### ● その他

現在は、観光案内所受付業務、子どもたちを見守る通学路防犯パトロール業務(市委託事業)、家事援助業務(整理整頓)などを行っています。このほか、空港での外国人対応業務など、会員の語学力を生かした仕事もお引き受けします。

### ▽仕事に関するお問い合わせ

この他にも軽微な作業等に関してお引き受けできる場合もございますので左記にご連絡ください。

※センター事務局(☎36・6161)

小さなことでも  
お気軽にどうぞ



# 令和2年度定時総会を開催

## 新理事長に下村氏を選出

成田市シルバー人材センターの令和2年度の定時総会が6月15日午後2時よりセンター会議室において開催されました。今年新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、会員へは議決権行使書の提出を呼びかける形で行なわれました。

委任状・議決権行使書提出374名・出席会員12名という異例の総会となりましたが、下村理事長が議長となり、令和元年度事業報告

及び令和2年度事業計画を報告しました。また、提出された議案(令和元年度決算書類・理事及び監事選任・会員会費規程・役員報酬規程は、全て原案どおり可決されました。

総会後、新理事により開催された臨時理事会において、代表理事として理事長に下村精哉氏と副理事長に飯田幸雄氏が、業務執行理事として常務理事に大矢知良氏がそれぞれ選任されました。なお、大矢氏はセンター事務局長も兼任します。新役員は下段のとおりです。

## 新任あいさつ



理事長(再任)  
下村 精哉

引き続き理事長の任を担うこととなりました。

人口減少、生産年齢人口の減、少子高齢化が進み、人生百年時代を迎えた今、シルバー人材センターに向けられた地域社会の期待は一層大きく、強いものとなっております。

一方、シルバー事業にとって、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、先行きが不透明で非常に心配されます。この厳しい状況の下、飯田副理事長共々、理事、監事、各部会、委員会の皆様と職員の連携を密にして、会員数の増、就業開拓、安全就業の徹底やその他の課題に精一杯取り組んで参りますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

※千葉県シルバー人材センター連合会  
会長、全国シルバー人材センター事業  
協会理事も兼任しています。

## 新役員が決まりました



副理事長(新任)  
飯田 幸雄



常務理事(新任)  
兼事務局長  
大矢 知良



理事(新任)  
宇野 澤省二



理事(新任)  
小澤 真人



理事(新任)  
木川 邦夫



理事(再任)  
後喜 多利一



理事(再任)  
諏訪 峰雄



理事(再任)  
竹内 芳子



理事(再任)  
橋本 敬一郎



理事(再任)  
堀江 道子



理事(再任)  
牧野 春雄



理事(新任)  
茂木 茂



理事(再任)  
吉田 昭二



監事(新任)  
天野 茂



監事(新任)  
窺 佳宏



## 会員の声

### 「清掃に誇りを持って」

今井けい子さん(美郷台)



わたしはシルバー人材センターに入会して5年になります。現役を退職後、家にいる時間が長くなったことで、自分中心で周りが見えなくなっていることに気付きました。外に出れば色々な考えを持った人に出会い、自分にとっていい刺激になるのではと思っていたところ、市の広報紙でシルバーを知り、何かできることがあるのではないかと思い入会しました。

初めての仕事は清掃で、今までやっていたルート配送の仕事とは全く違うので戸惑いはありましたが、「いただいた仕事はきちんとやる、いい加減なことにはできない」と考え、一生懸命やろうと心に決めました。清掃をしていると挨拶や気遣いの

言葉を掛けてくれるお客様もいます。今では楽しく誇りを持って就業しています。また、以前センターで清掃の講習会があり、そこでガラスに付いたセロテープの剥がし方を教わったのですが、その後直ぐに、就業先で生かすことができました。清掃をしてきれいになるのはとても気持ちのいいものです。

センターに入会して良かったと思うことは女性会員対象の健康体操、手芸、手巻き寿司教室へ参加できたことです。普段は会うことのない会員との交流もあり、ゆるく楽しい時間を過ごすことができました。中でも手巻き寿司はなかなか手強く大変でしたが、それも楽しい時間となりました。

仕事のない日は孫と遊んだり、日帰り旅行に行ったり、ゲームも好きでよくやっています。これからも明るく楽しくを心掛け、仕事を頑張りたいと思います。



## 活動報告

### 女性会員によるマスク製作

新型コロナウイルス感染予防のためのマスク不足が深刻化していた4月、県内のシルバー人材センターのマスク製作が新聞に取り上げられました。本センターでも少しでも困っている人のお役に立てればということで、趣旨に賛同した女性会員のボランティアによるマスク作りがスタートしました。

女性理事を中心に素材や形などの情報を収集し、裁縫の得意な会員の協力を得て試作を重ね、付け心地はもちろん、縫製も複雑でないオリジナルのマスクが出来上がりました。

材料の調達に苦労しましたが、作業負担を明確にし、衛生面にも配慮したマスクは、会員の頑張りのおかげで無事300枚が完成。きれいに袋詰めをし4月20日に下村理事長と女性理事3人で、成田市へ寄付しました。このマスク作りの様子は広報なりの表紙にもなりました。

また、当センター製作のマスクが贈られた特別養護老人ホームからは「マスク等の衛生材料が不足していたためマスクを寄贈していただき大変

感謝いたしております。感染拡大防止のために有効活用させていただきます」という内容のお礼状もいただきました。

後日、成田市より新たに1,000枚の依頼があり、素材や形状を再度検討し、会員一丸となって、短期間で依頼の枚数を仕上げました。作業を終えた会員からは、色々とお氣を使っただけの作業は大変だったという声や、昔縫製の仕事をしてきた会員からは、単純作業ではあったが短期集中でやりがいがあったとの声も聞かれました。



小泉市長へマスクを贈る下村理事長(成田市役所で)

## わたしの趣味 —着物リメイク—

太田 法子 会員 (本城)

20年前、ストレスが原因の突発性難聴になり、ストレス解消のために色々なことをしました。その中で本に載っていた、着なくなった着物から洋服を作る着物リメイクに興味を持ったのですが、近くには教室がなく東京や埼玉まで習いに行きました。教室の先生により



リフォーム作品

同じ着物リメイクでも考え方が違っていたので、それぞれの「いとこどり」で作品を作っています。作品数は数

えきれないほどです。着物は古着屋で購入することが多く、1枚の決まった量の着物から柄などを見て、その中で何をどう作るかを考えることはとても楽しいです。極端に言えば寝ても覚めても作品のことで頭の中はいっぱいという状態になっています。また、着物リメイクを教えて欲しいという声に応えて、自分の得た知識をもとに指導もしています。みんなで集まり、どのようにリメイクするかを検討することで、新たな発見もあり、一人で楽しむこととは違う楽しさも味わっています。

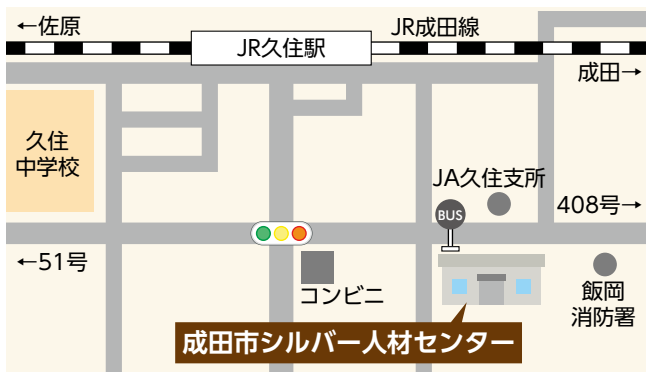


## 事業実施状況報告

事業実績報告		平成30年度	令和元年度
会員数	男	372人	382人
	女	97人	96人
	合計	469人	478人
就業実人員		458人	451人
就業率		97.7%	94.4%
受託件数	公共機関	548件	523件
	民間企業	866件	841件
	一般家庭	1,988件	1,901件
	合計	3,402件	3,265件
契約金額		235,464千円	226,686千円

### 会員数は微増、契約金額は減少

平成30年度と比較すると会員数は9名の微増となりましたが、女性会員は100人を割ってしまい女性会員の拡大が課題となっています。除草作業、植木剪定の受注が多くお盆前や年末などは2カ月以上待ちの状態が続きました。年度内は新型コロナウイルスによる影響(2・3ページ参照)はありませんでしたが、契約金額の多かった就業先の減少や除草や植木の就業日数の制限などがあり、受託件数は減少し、契約金額も8,777,382円の減になりました。



編集・発行 公益社団法人 成田市シルバー人材センター 広報部会

〒286-0819 成田市久住中央1丁目12番地3

TEL 0476-36-6161 FAX 0476-36-6711

http://webc.sjc.ne.jp/narita/index

E-mail : narita@sjc.ne.jp

〈受付時間〉

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

(土日・祝日、年末年始除く)



## 編集後記

前号では台風災害に触れ、今年は何も起こらぬよう願ったのも束の間、疫病の流行という災難が待っていました。本号も当初予定していた内容を変更してコロナ禍によるシルバー事業への影響を掲載することに。関連する情報も溢れ、テレビなど連日こればかり。感染症の専門家が何人も出演した中で特に関心を持ったのが国際医療福祉大学の松本哲哉教授。肩書に「成田病院」と入ることもあり、お気付きとは思いますが、同大にはシルバー祭りでも毎年講演いただいているので、尚更です。来春、無事に祭りが開催できれば是非とも松本教授のお話を拝聴したいものです。